

＼昨年度からプログラムをリニューアル／



# 心のバリアフリー教室

## 実施校募集中！

2019年から実施している「心のバリアフリー教室」今年から新プログラムで実施します！

### 主な変更点

- ✓ 全5コマから3コマに変更！内容を厳選し、より充実したプログラムを短時間で学べるようになりました。
- ✓ 障がい者との交流体験に代わり、さまざまな当事者の声を動画視聴します。



### 応募概要

対象 5年生（学年は原則となります）

募集期間 8月13日(水)～9月5日(金)

応募方法 専用のお申込みフォームから



◀お申し込みはこちら

[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=105464](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList_detail?tempSeq=105464)  
※応募多数の場合は抽選

### お申込み後のスケジュール

- ・9月中旬：実施校を決定
- ・10月10日(金)、14日(火)、15日(水)の内いずれか1日：事前研修・打ち合わせ(オンライン)
- ・10月～3月(後期)：心のバリアフリー教室の実施



POINT 1

#### 実際の声をお届け！

動画で自分と異なる人の声を聞くことで、視野を広げることができます。



POINT 2

#### 考えるプログラム

座学だけでなく、グループワークなどを通じて「自分で考えること」を大切にしたいプログラム



POINT 3

#### スケジュール調整可能

1コマ目はクラス毎に実施するため、自由に日程を設定できます。2,3コマ目は学校のスケジュールに合わせて日程を決定します。

問い合わせ

茅ヶ崎市 都市部 都市政策課 交通計画担当

電話 0467-81-7181(直通)

メール toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

＼ご不明な点はお気軽にお問合せください！



目的：様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことでなくせるバリアがあることを理解し、実践する気持ちを育む。

狙い：障がい理解・他者理解だけでなく、コミュニケーションを取って支え合うことの大切さや障がいの社会モデルという「自身に何ができるか」について考えることを狙いとする。

## 授業の概要

- ・時間：45分×3コマ
- ・実施単位：1コマ目 各クラス  
2,3コマ目 学年全体(同時)
- ・実施場所：1コマ目 教室  
2,3コマ目 体育館など

※1コマ目の講師は担任の先生、2,3コマ目は市職員となります。  
※1コマ目の授業を担当する先生向けに事前研修(オンライン)があります。(詳細は後日ご案内します)  
＼事前研修は実施の有無に関わらず受講可能です！

## プログラム

### 1コマ

#### 知ろう！心のバリアフリー

気持ちや考え方、身体の特徴は一人ひとり違うため、困りごとそれぞれ違う。そして、その困りごとが起きる原因とその解決方法として「心のバリアフリー」について学びます。



### 2コマ

#### 考えてみよう！心のバリアフリー (コミュニケーション編)

動画を通じて、自分とは異なる人を知ります。そして、ワークを通じて困りごとを想像し、コミュニケーションの大切さを学びます。



### 3コマ

#### 考えてみよう！心のバリアフリー (障がいの社会モデル編)

身近なところや社会にあるバリアを減らす工夫を知ります。自宅で過ごすときにどのような方法で困りごとを取り除くことができるか考えることで「障がいの社会モデル(※)」について学びます。



### 宿題

#### 障がいの社会モデルを考える

学校を舞台に「障がいの社会モデル」について考える宿題を行います。3コマの学びの定着を目指します。



※「障がいの社会モデル」は、困りごとの原因は、人ではなく社会にあり、取り除くことができるという考え方です。

## Q & A

1コマ目はどうやって授業をすればいいですか？

教材と教本を市で準備します。また、先生向けの事前研修を実施しますので、ご安心ください。

原則5年生となっておりますが、他の学年でも大丈夫ですか？

5年生向けのプログラムとなっておりますが、ぜひ一度ご相談ください。

障がい者のとの交流教室はありますか？

交流の機会はありませんが、障がい者に留まらず、自分と異なる方の声を動画でご紹介します。